

専攻科だより 第25号

平成 24 年 3 月

生産システム工学専攻修了生の紹介

顔写真



- ①氏名
②研究題目
③コメント（専攻科で得たもの、今後の抱負など）

- ①伊藤 将志
②生分解性複合材の分解性および力学解析
③専攻科では本科の時以上に深く研究ができ、より専門的な知識を得ることが

できました。本科と専攻科で学んだことを活かし、これからも頑張りたいです。



- ①金山 将人
②出欠管理システムの構築
③専攻科に入学してからの2年間は大変なものでしたが様々な経験を通して人としても技術者としても大きく成長することができました。これからは弓削商船で得たものを活かして頑張っていきます。



- 酒井 麻友美
②極配置法に基づくデータ駆動型むだ時間補償器の一設計
③本科での5年間に比べると半分にも満たない2年という短い時間でしたが、密度では本科を上回っていたと思います。専攻科での経験を活かし、立派な社会の一員になりたいです。



- ①二宮 静香
②海洋照明用新光源点灯システムの研究
③専攻科ではより専門的なことを学ぶことができ、学会発表など貴重な体験をすることができました。この春から弓削商船の卒業生として、また社会の一員として立派な社会人を目指して頑張っていきたいです。



- ①藤井 徹
②接線力による微小変位特性の精密位置決めへの応用
③専攻科へ進学したことで、自分の将来の道が大きく広がりました。本科に在学していた時には学べなかった事や体験できなかった経験が沢山あったため、大きく成長することができました。



- ①宮地 真司
②接触による粗さ面の変化に関する研究
③専攻科に進学して、特別研究や学会発表など、貴重な体験をする事ができました。弓削商船で培った経験を、今後の社会人生活に活かしていきたいです。



- ①村上 智洋
②FEMを利用した切欠きとき裂の応力場の数値解析
③専攻科での2年間、研究や勉強をしていく中で、自分の進みたい道、新たに挑戦したいことが見えるようになりました。7年間の高専生活でご指

導していただきお世話になった先生方に心より感謝しています。



①矢口 竜也

②熱重量測定装置の製作と木質バイオマス炭化物の評価実験

③弓削商船で7年間学んだことを就職先で活かし、立派な社会人になれるよう頑張りたいです。お世話になった先生方や同級生、今までどうもありがとうございました。

生産システム工学専攻修了生の進路

■就職先

井関松山製造所、島津メディカル、日立情報通信エンジニアリング（2名）、日立情報制御ソリューションズ、ヤマナカゴーキン、広島大学技術職員

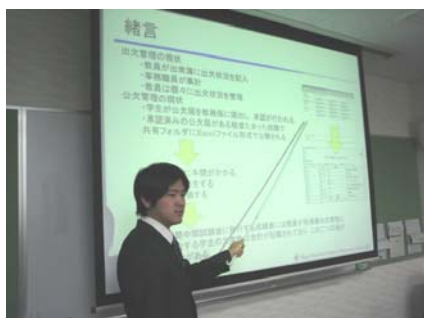
■進学先

岡山大学大学院、神戸大学大学院

専攻科行事の報告

■ 生産システム工学専攻特別研究最終審査発表会

2月6日（月）に専攻科棟レクチャールームで開催され、6期生8名（機械系5名、情



発表会の様子

報系3名）が2年間の研究成果を発表しました。教員や学生からの質問に、堂々と対応していました。なお、本研究の内容は、専攻科特別研究論文集として公表されている。

■ 学位授与試験の判定結果

2月14日、[独]大学評価・学位授与機構より、学士の学位授与試験の判定結果が通知され、生産システム工学専攻6期生全員が合格しました。なお、生産システム工学専攻学生の合格率は、全国平均よりやや高い96%です。

創造性教育について

■ 海上輸送システム工学専攻の取り組み

近年創造性教育の必要性がうたわれるようになってきている。そこで海上輸送システム工学専攻においては、海事科学演習でプロペラ模型を製作させる創造性教育を行っている。まずプロペラ設計の基礎を学び、自己が創造するプロペラ効率の良いプロペラの形状とはどのようなものかを創造し自ら模型を製作する。一枚のアルミ板からNCフライス盤を用いて二次元的な形状を削りだし、手作業で三次元形状のプロペラ模型の製作を行う。また、今年度はその完成した模型の自航動力計を用いてトルク、スラストの計測を行う予定である。学生が製作した模型の一部を写真に示す。



学生が製作した模型